



職サークル

ギャザリング

開催報告

20241017 | 学生あり

<テーマ>

グループディスカッション(GD)評価体験会

参加: 企業 27 社 43 名、学生46、職サークル 15 名

合計 103 人

ファシリテーター: [平原](#)

内容(概略):

1. チェックイン: 今日のお天気は? 選考するとき、選考されるとき、企業・学生はそれぞれどんな気持ち?
2. 評価表作成 & 模擬グループディスカッション(GD)
3. 評価基準 & 結果共有会、学生人事ぶっちゃけ質問会
4. チェックアウト: 本日の対話の感想 / 自分の行動に活かせる気づき

当日の模造紙([google スライド](#)):

[ディスカッションメモです。ぜひご覧ください!](#)

運営のポイント

どんな人が合格するのか。どうすれば合格するのか

人事の視点と学生の視点には相も変わらず深い溝が存在しています。一方で、人事歴が長くなってくると人事の視点が当たり前になってしまう。学生時代に感じていた疑問や視点を忘れてしまう。

そんな溝を埋めるべく、学生に「評価表の作成」と「評価」を体験してもらい、人事と結果をすり合わせることで相互理解を深めよう! という今回の企画。

チェックインのあと、メインルームで以下のチャットトークを実施しました。

■学生の方へ: GDの悩みってどんなものがありますか?

全体の意見が止まり、**気まずい空間が流れること** / 何か言わないと **自己紹介で大学名を言う流れ** / 良い意見を出さなきゃいけないプレッシャー / 不安...etc.

■企業の方へ: GDのジャッジの悩みってどんなものがありますか?

盛り上がっていないときの評価 / 発さない方がいると、判断ができず、泣く泣く不合格がづらい... / **その積極性は...本物? 無理してる? / 緊張等を出し切れていない能力を想像するのが難しい** / **武装**され過ぎてしまうとその人らしさが分からない!

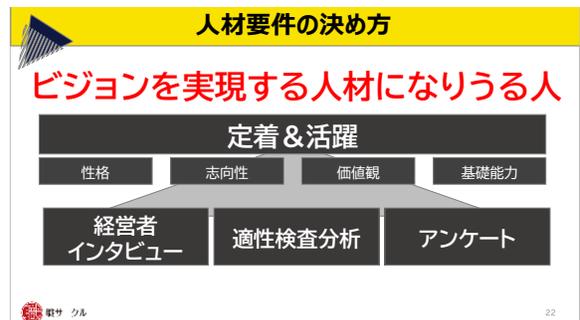
出るわ出るわ、GDへの悩み。誰にとっても簡単で分かりやすい選考、とは言えなそうです。ともすると、学生は

GDをうまく仕切れるような、面接官受けの良い人を企業は採用したいんじゃないんですか...

という一義的な優秀学生のイメージを持っていて、そこに自分を近づけようと一生懸命になっているのでは。

そこでヒラハラより企業の採用について少しだけレクチャー。

- ・ 企業は自社のビジョンを達成するための人財を定義しており、その人になりうる人(自社に入って定着&活躍してくれる人)を新卒採用で採用すべく、丁寧に人材要件を作っているよ!
- ・ 人材要件は企業によって千差万別で、決して一義的ではないよ!
- ・ GDがうまい人を採っているわけでも、採用担当者の好みで採っているわけでもないよ!



これらを実感いただくために、それぞれオリジナルの評価表を作ってください、([評価表はこちら](#))立候補で募った代表5名のグループディスカッションをみんなでジャッジ。(学生さんの立候補は10名もいらっしゃいました! 全員出来なくてごめんなさい)

模擬GDのテーマは「**多くの学生がホンネでは働くことに対してネガティブな感情を持っていると仮定する。学生が働くことに対して前向きに捉えるようになるために、企業はどんな取り組みをするべきか。**」というもの。

白熱の15分のGDは、見ているみんなが手に汗握る展開となりました。

ここから全体の前での登壇学生のコメント、代表人事からのフィードバックを経て、グループでの評価共有会。

「どんな評価軸にしていたか」「上位2名は誰と誰か」

評価をすり合わせてみると、見ている人によって、本当に順位がばらけるということが実感できた時間でした。

メインルームでの気づきの共有で、グサッと刺さった言葉。

学生「企業によって評価が全く違う。自分らしく働ける会社に入社するためにも、自分らしくGDに参加すればいいし、たとえ不合格になったとしても合わなかったんだって思えばいいんだと思っただらほっとしました」

ヒラハラ心の声「そうだよ！それが伝えたくてこの場を作ったんだよ！！！！(涙)」

企業「選考であっても、のびのびとしていいんだよ！」

ヒラハラ心の声「ほんと、ほんとそうですよね！！！！(号泣)」

チェックアウト:学生(チャット共有)

- 素直に自分の意見を言えるようにしたいと思いました
- ディスカッションは貢献の意識でチームと協力
- 自分が思っているほどきっちりかっちりしなくていい!!!!
- 無理してではなく、自然体でGDをすること
- GDの最初でみんなの緊張をほぐせるようにしていきたい
- YES,BUTと笑顔
- 自分のままで就活していいんだと気が付いて自信が持てた！
- 時には「自己主張」も大切！
- 全てをさらけ出せ!!!
- GD仲間は敵じゃない！良い話し合いをする仲間
- この企業に入りたい！では偽ってしまってミスマッチが起こり結果的に自分が苦しみというのが本当に核心だと感じた
- 次は自分らしくのびのび楽しくGDやってみたいです！
- 役割に囚われすぎず、自分らしく頑張る！

チェックアウト:社会人(チャット共有)

- 企業によって判断基準が違うことが勉強になりました！
- K部さんさすがでした！もっとフィードバック力を鍛えようと思いました。
- 学生さんの質問の種類にも注目したい！まだまだ採用初心者。でも学生さんにうまくいってほしい！頑張ります。
- 想いは人それぞれ！正解はない！
- 学生さんがGDに対して思っている気持ちがわかってよかったです！
- 真剣な学生さんの気持ちを理解して、真剣に向き合う！
- 良い人材はいっぱいいる。だからこそ、自社が重視する特性を見極めることが重要ですね
- 雰囲気づくりを大切に！
- 学生が本音で話せるようにする環境へ
- 選考に仮面はいらないけど、意思は大切♡
- 学生さんが不安に感じていることに寄り添い、納得いく就職活動のパートナーになりたいなと思いました。みんな就活頑張ろうね！！

学生アンケート抜粋:

- 人事側を経験することで難しさも分かった。また、人によって見るところが違うので、自分らしさを出して評価してもらうことがベストということに気がついた。

- GDに対して不安しかなかったけれど、企業によって欲しい人材はかなり違うことがわかったから。自分らしく頑張ろうと前向きになれたから。
- 面接に意気込みすぎていたかなと思った。また、グループディスカッションでは良い意見を出すことのほかに、役割を全うすること、他の人と協働することも評価対象になることを改めて理解しました。ほかの学生さんが言っていた「自分の普段通りやって、それで合わなかったら縁がなかっただけ」という表現が印象的でした。
- GDがどんなものかわかっていなかったの、何を見られているのか、どう進んでいくのかを少し知れてよかった。また、こうすればいいとか、こうしなきゃいけないとかが無いことがわかり、頑張ろうと思えた。
- グループディスカッションへの対策は色々なイベントで聞きましたが、実際に評価をする側を体験し、情報を共有したことで評価され方や評価ポイントが全然違かったため、さまざまな視点を知ることができる機会になりました。
- 期待以上です！社会人も同じ人間だし悩むところは同じだなあといい、なんだか安心しました。

社会人アンケート抜粋:

- 枠組や運営が難しいテーマでしたが、学びや気付きも多く、良い刺激を頂きました。学生・社会人共に良い表情の人が多かったのも印象的でした。
- 人事として、他の人事の方のフィードバックの仕方がとても参考になりました。また学生さんがGDに対して思っている不安や疑問を聞くことができ良かったです。
- 学生の方が、想像以上に色々な不安を抱えているということを知ることが出来ました。ギャップ・知らないからの不安これの対処ですね
- 評価基準が会社によって違うことを改めて実感し、弊社でもターゲットを考えることが必要と再実感しました。
- にしても、着飾らないといけないと思っている学生さんばかりなんだということに驚きました。
- GDの場で頑張る学生の皆さんと、終わった後の本音ベースの時間や延長戦での会話で出る心とした表情と、両方を見させていただいて、実際の採用活動でも、どのようにして学生さんの「その人らしい笑顔」を引き出していか、取り組みたいと思った。それくらい、学生さんの生の言葉を聞けたとは思います。
- 学生がGDはこうやるべきだと囚われていると知れたと同時に、人事である私自身こう評価しなきゃいけないと囚われていることに気づきました。GDはあくまでどんな人が知るための手段の一つであって、GDをすること自体が目的ではないことを忘れずに採用活動していきたいと改めて思いました。

職サークルスタッフ感想コメント：

■こんにちは、[オニマル](#)です。

今回の公開 GD 評価体験では実際に GD を評価するという経験を人事も学生も同じ立場で実施し、それぞれ見ている視点や評価するポイントに違いがあること、そして同時に複数名の GD を評価する難しさを全員で体感し共有することが出来ました。結局企業によって見ているポイントが違ったり取り繕って選考を受けても仕方ない点、学生さんもしみじみ体感していたようでした。人事の目線、学生さんの目線を知る機会があり、個人的にもとても学びが多かったです。

お知らせ：

今回も 100 名を超える zoom ミーティング。企業、学生、職サークル(パフ社員)をバランスよくブレイクアウトルームに割り振るだけでも超絶難易度の本イベント。今回も最初のブレイクアウトルームをスタートした瞬間の「はあ〜〜間に合った〜〜〜」というホストの心の叫びが聞こえてしまった人も多かったのではないのでしょうか(笑)いろんな大変さを乗り越えて開催しているこのギャザリングですが、やっぱり学生と企業の本音の対話っていいですね。終了後の居残り質問会も本音でとても面白かったです。

次回は 11 月 21 日(木)

企業のみ「成長とは何か／育成とは何か」です！

※次回は企業のみ回！ハイブリッド開催となりますので、対面参加可能です。終了後にオフ会(任意参加)やりますよ〜！！！！

それでは、また！

職サークル企画責任者 平原葉子